

## 令和3年度 蓄冷式クーラー等の導入助成を受付開始

一般社団法人 鳥取県トラック協会

### 1. 申請受付期間

(1) 1次受付期間 令和3年7月1日～令和3年8月12日

予算オーバーの時は、予定機数に比率（総申請数分の各申請数）を掛けて助成数を決定します。（1台未満切捨て、但し最低数は1台。全申請者が1台の場合は、先ずアンケート提出者を優先し、次に先着順で決定します。）

(2) 2次受付期間 令和3年8月16日～令和3年12月24日

1次受付で予算に余裕がある場合のみ受け付けます。（先着順受付）  
予算枠をオーバーした場合は、申込受付を終了します。

\*申請は、必ず導入を決定されている場合のみ提出して下さい。

### 2. 申請対象者

令和3年4月1日から令和4年2月28日の間に、新品機器を購入（現金・割賦販売）又はリースで導入する会員事業者で、その際の導入費用（含む・取付費、除く・消費税）に対し助成を行う。

### 3. 助成条件

(1) 車載バッテリー式冷房装置については、国又は地方自治体からの補助金が交付された場合、助成対象外となります。

### 4. 対象機器・車両

(1) エンジン停止時に相当時間連続して使用可能な車載用冷房用機器で②の車載バッテリー式冷房装置は、（公社）全日本トラック協会が認めたもの。

①蓄冷式クーラー

②車載バッテリー式冷房装置（別表に記載）

(2) 機器を取り付ける車両は、会員事業者が使用する車両で、かつ使用の本拠の位置が鳥取県内で営業用（緑ナンバー）貨物自動車であること。

### 5. 助成金額・予算枠

(1) 助成金額（1機当たり）

導入費用の2分の1で限度額は次のとおりとする。

ただし、千円未満は切捨てとする。

①蓄冷式クーラーは、50,000円（鳥ト協助成金のみ）

②車載バッテリー式冷房装置は、60,000円（全ト協助成金のみ）

(2)予算枠 鳥ト協 100万円・全ト協はエアヒータと合わせて36万円

### 6. 鳥ト協の助成上限台数（1事業者）

①蓄冷式クーラー……………2台

### 7. 申請時提出書類

①蓄冷式クーラー等導入助成金交付申請書（様式1）

②導入機器のメーカー名・機器名（蓄冷式又はバッテリー式を必ず記載）・金額（単価と総額、除く消費税）等が記載されたもの（見積書等（写））

### 8. 交付決定

蓄冷式クーラー等導入助成金交付決定通知書をFAXで送付する

9. 実績報告期限 導入・支払完了後2か月以内  
最終報告期限：令和4年2月28日(月)

提出書類

- ①蓄冷式クーラー等導入実績報告書兼請求書(様式3)
- ②蓄冷式クーラー等装着証明書(様式4)
- ③請求書(写)…導入機器のメーカー名・機器名(蓄冷式又はバッテリー式を必ず記載)・数量・金額(単価と総額、除く消費税)の記載があるもの
- ④領収を確認できるもの(領収書等(写))…請求書と同額なもの(リース・割賦販売の場合も販売会社が発行したリース会社等宛の領収書等が必要です)
- ⑤リース契約書・割賦販売契約書(写)…機器メーカー名・機器名称・型式・数量の記載があるもの
- ⑥装着車両の自動車検査証(写)
- ⑦誓約書(様式5)…車載バッテリー式冷房装置のみ

10. 申請をされる方は、蓄冷式クーラー等導入助成金交付要綱(下記又は鳥ト協ホームページに掲載)を必ずお読み下さい。

お問合せ先 (一社)鳥取県トラック協会 担当 宮本 TEL0857-22-2694

---

## 蓄冷式クーラー等導入助成金交付要綱

一般社団法人 鳥取県トラック協会  
改正 平成30年3月23日

(目的)

第1条 この要綱は、一般社団法人鳥取県トラック協会(以下「鳥ト協」という。)の会員事業者が、蓄冷式クーラー等を購入する際、鳥ト協がその代金の一部を助成することとし、環境対策推進事業の一貫として、アイドリングストップ運動の推進に努めることを目的とする。

(対象機器)

第2条 助成する対象機器は、次のとおりとする。

- 1 トラックドライバーが休憩、荷待ち等におけるエンジン停止時に相当時間連続して使用可能な車載用冷房機器で、次に掲げるものとする。(以下「機器」という。)  
ただし、第2号の車載バッテリー式冷房装置は、公益社団法人全日本トラック協会(以下「全ト協」という。)が認めたものとする。
  - ①蓄冷式クーラー
  - ②車載バッテリー式冷房装置

(助成対象)

第3条 助成の対象は、各年度の別途指定する期間に、新品機器を現金もしくは割賦販売での購入(以下「購入」という。)またはリースで装着する鳥ト協の会員事業者(以下「会員事業者」という。)の、その際の導入費用(含む取付費、除く消費税)に対して助成を行う。

(装着対象車両)

第4条 機器を装着する車両は、会員事業者が使用する車両で、かつ使用の本拠の位置が鳥取県内の営業用(緑ナンバー)貨物自動車とする。

(助成金の交付額)

第5条 1機当たりの助成金の交付額は、導入費用の2分の1とし限度額は、次の各号のとおりとし、千円未満は切捨てとする。

ただし、国等の補助金および助成金の合計が機器商品の導入費用を超えない範囲とする。  
また、各会計の予算枠を超過した場合は、超過した会計の助成金は支払わないものとする。

- ①第2条第1項第1号の蓄冷式クーラーは、交付金会計で1機当たり5万円を限度とする。
- ②第2条第1項第2号の車載バッテリー式冷房装置は、全ト協会計の全ト協助成金で6万円を限度とする。ただし、国の補助金が交付された機器には、全ト協助成金は交付しない。

(助成の上限台数)

第6条 1 会員事業者に対する助成台数は、その都度定める。

(交付申請)

第7条 会員事業者は、様式1の「蓄冷式クーラー等導入助成金交付申請書」に必要な事項を記入し、別途指定する日までに、鳥ト協へ申請する。

- 2 前項の申請に必要な添付書類は、別に定める。

(交付決定)

第8条 鳥ト協は、前条の申請が適正であり、交付を適当と認めるときは、様式2の「蓄冷式クーラー等導入助成金交付決定通知書」により申請者へ通知する。

- 2 鳥ト協は、前項の通知に際し、必要な条件を付けることができる。

(実績報告・助成金請求)

第9条 会員事業者は、機器の導入が完了したときは、様式3の「蓄冷式クーラー等導入実績報告書兼請求書」(以下「実績報告書」という。)および様式4「蓄冷式クーラー等装着証明書」を、別途指定する日までに、鳥ト協へ提出しなければならない。

- 2 前項の実績報告書に必要な書類は、別に定める。

(助成金の交付)

第10条 鳥ト協は、前条の実績報告書の提出があったときは、速やかに内容を審査し、適当と認めるときは、必要に応じて全ト協へ助成金交付請求を行い、全ト協より助成金が交付された後、購入およびリースによる導入とも会員事業者へ助成金を交付する。

(助成金の返還)

第11条 鳥ト協は、次の各号のいずれかに該当するときは、会員事業者に対し交付した助成金の返還を命じることができる。

- (1) この要領その他鳥ト協が定める事項に違反したとき
- (2) 虚偽その他不正な手段により助成金の交付を受けたとき
- 2 前項の規定により返還を命じられた事業者については、鳥ト協が行う助成事業すべてに係る申請は、原則として、当分の間、これを受付又は交付決定を行わないものとする。

(機器の処分制限)

第12条 会員事業者は、交付対象となった第2条第1項第1号の蓄冷式クーラーは装着の日から起算して4年を、また第2条第1項第2号の車載バッテリー式冷房装置は装着の日から起算して6年を経過するまでの期間は、譲渡、交換、廃棄、他用途への転用、貸付または担保に供してはならない。ただし、あらかじめ鳥ト協の承認を得た場合はこの限りではない。

- 2 会員事業者は、前項による処分が行われたときは、鳥ト協へ報告しなければならない。

(その他必要な事項)

第13条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付に関するその他の必要事項は鳥ト協が別に定める。また、全ト協の助成金については、全ト協が定めたアイドリングストップ支援機器導入助成金交付要綱および要領も適用する。

(付 則)

この要綱は平成15年6月2日より施行する。

平成24年6月29日 全部改正(平成24年6月29日施行)

平成25年5月13日 一部改正(平成25年5月13日施行)

第1条、第3条

平成 29 年 5 月 24 日 一部改正 (平成 29 年 4 月 1 日施行)  
 第 5 条第 2 項、第 11 条、第 12 条、第 13 条  
 平成 30 年 3 月 23 日 一部改正 (平成 30 年 4 月 1 日施行)  
 第 12 条第 2 項

## アイドリングストップ支援機器一覧

◎車載バッテリー式冷房装置

令和 3 年 4 月 1 日現在

メーカー名	機器名・型式
太陽工業	エアースタイル
ベバストサーモアンド コンフォートジャパン	パーキングクーラー フレスコ 3000
	ベバスクーラー Cool Split20 Top/Back
アイ・シー・エル	ISC-1800W i-cool+ (アイクール プラス)
	i-Cool mini (アイクール ミニ)
	i-Cool Hi (アイクール ハイ) ISC-2200W
エバスベヒャー ミクニ	クールトロニック 9457001
	クールトロニック 9457321
	クールトロニック 9457322
	クールトロニック 9457323
ホワイトハウス	クールトロニック
スカニアジャパン	Bycool Compact3.0